

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
つくば国際ペット 専門学校	平成18年3月10日	寺崎 修司	〒300-4353 茨城県つくば市沼田字川戸578番地 (電話) 029-866-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 つくば文化学園	平成18年3月10日	東郷 治久	〒300-4353 茨城県つくば市沼田字川戸578番地 (電話) 029-866-2800			
目 的	教育基本法及び学校教育法に従い、ペットビジネスに必要な専門知識と技能技術を習得させ、社会と業界に貢献する有為な人材を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教 養分野	専門課程	ペットビジネス 学科(ドッグトリ マーコース)	2年(昼)	1700単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学 大臣告示第20号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	884単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	816単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	60人	3人	人	3人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 実技・筆記試験・授業態度・出席 率を総合的に評価	
長期休み	■学年始め：4月6日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月22日～1月5日 ■学 年 末：3月17日			卒業・進級条件	履修する全科目の単位修得した者	
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・個別面談・保護者面談			課外活動	■課外活動の種類 技能大会への参加 ■サークル活動(無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 ペットショップ、動物病院他</p> <p>■就職率 100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合98%</p>	主な資格・検定	<p>全日本愛犬技術者指導協会</p> <p>トリマー、ホームドッグトレーナー、小動物衛生看護師、ペットケアマネージャー</p> <p>日本愛玩動物協会</p> <p>愛玩動物飼養管理士</p> <p>動物看護師統一認定機構</p> <p>認定動物看護師</p> <p>職業教育・キャリア教育財団</p> <p>ビジネス能力検定</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 8.8%</p> <p>平成27年5月1日在学者 45名（平成27年4月入学者を含む）</p> <p>平成28年3月31日在学者 41名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 病気療養、学習意欲喪失</p> <p>■中退防止のための取組 校内イベントの定期開催、個人面談の実施、保護者面談の実施、相談窓口の設置</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ペット業界が求める人材を育成するため、ペット関連企業、関係団体等との連携をとり、最新の専門知識、技術技能を教育内容に反映させるなど、広く意見を取り入れ、カリキュラムの改善等を定期的に行う。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
寺崎 修司	つくば国際ペット専門学校
松島 美夫	一般社団法人全日本愛犬技術者指導協会
田口 弘樹	つくばわんわんランド
宮本 利子	つくば国際ペット専門学校
小寺 智也	つくば国際ペット専門学校
水野 恵理子	つくば国際ペット専門学校
内田 智幸	つくば国際ペット専門学校
高橋 仁	つくば国際ペット専門学校

### (開催日時)

第1回 平成28年4月1日 16:00~18:00

第2回 平成28年10月12日 16:00~18:00(予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

研修生として実務、接客等にあたり、実際の職場を経験させることを基本方針とする。

在学期間中にできるだけ多くの動物を使った実習が有効と考え、担当教員の要請により、可能な限りの動物の提供を受け実習に活用する。

専門的スキル、技術の習得に不可欠な実際の職場等を使った実習を行うため、施設の使用をお願いしている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
総合実習(わんわんランド研修)	テーマパークにおいて、担当スタッフの指導の下、各部署や担当に分かれて動物管理や接客などの実習を行う。	つくばわんわんランド

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

企業等の持つ業界の最新の情報や動向、企業での工夫、努力点等の情報と当校での教員の知識や教育指導の過不足、生徒の習熟度などの情報を共有し、学校長が指示する研修等において確認を行い、実践的かつ専門的なスキル、技術の向上に努める。また、各競技会や学会等を積極的に活用するよう奨励している。

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
寺崎 修司	(事務局)つくば国際ペット専門学校
松島 美夫	一般社団法人全日本愛犬技術者指導協会
田口 弘樹	つくばわんわんランド
上倉 景子	卒業生(つくばわんわんランド)
宮本 利子	(事務局)つくば国際ペット専門学校
小寺 智也	(事務局)つくば国際ペット専門学校
水野 恵理子	(事務局)つくば国際ペット専門学校

内田 智幸	(事務局)つくば国際ペット専門学校
高橋 仁	(事務局)つくば国際ペット専門学校
<p>(学校関係者評価結果の公表方法)</p> <p>URL:<a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a></p>	
<p><b>5. 情報提供</b></p>	
<p>(情報提供の方法)</p> <p>URL: <a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a></p>	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程ペットビジネス学科ドッグトリマーコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			犬学	犬の種類、習性、しつけ等について学習する	1通	68		○		
○			猫学	猫の種類、習性、飼い方等について学習する	1通	34		○		
○			スタンダード学	犬種についての原産、特長、標準体型などを学習する	1通	68		○		
○			ペット販売学	ペット販売に必要な知識、説明方法、法規などを学習する	1通	34		○		
○			動物飼養管理学	動物に関連する法律、動物と人間の歴史、動物の飼養方法などを学習する	1通	68		○		
○			ペットビジネス学	ペット関連の様々な業種、仕事内容、現状などを学習する。	12通	68		○		
○			公衆衛生学	公衆衛生について意義、法律、病気などを学習する。	2通	34		○		
○			ビジネスマナー	ビジネスにおけるマナーや文書の書き方などを学習する	2通	34		○		
○			基礎獣医学	動物の病気、怪我、治療法、応急処置方法等を学習する。	2通	34		○		
○			飼育管理学	動物を飼養する場所の管理について学習する	2通	34		○		

○			ペットショップ概論	ペットショップの役割、在り方、経営方法などモデルケースを学習する	3通	34		○		
○			グルーミング概論	犬の手入れ方法、道具の使い方等を犬種別に学習する	12通	136		○		
○			トリミング概論	犬のカットスタイルについて犬種、スタイル別に必要な技術とともに学習する	12通	136		○		
○			トリミング実習	犬のカット方法を実際の犬を使って実習で習得する	12通	612				○
○			ハンドリング実習	ドッグショーでの犬の扱い方、歩かせ方などを実習で習得する	1通	68				○
○			繁殖学実習	犬の交配、出産などの管理を実習で習得する	2通	68				○
○			総合実習	レクリエーション大会、学園祭、動物愛護行事、わんわんランド研修、研修旅行など広い分野の実習を行う	2通	68				○
合計					17科目	1700単位時間	(	単位)		

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
つくば国際ペット 専門学校	平成18年3月10日	寺崎 修司	〒300-4353 茨城県つくば市沼田字川戸578番地 (電話) 029-866-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 つくば文化学園	平成18年3月10日	東郷 治久	〒300-4353 茨城県つくば市沼田字川戸578番地 (電話) 029-866-2800			
目 的	教育基本法及び学校教育法に従い、ペットビジネスに必要な専門知識と技能技術を習得させ、社会と業界に貢献する有為な人材を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教 養分野	専門課程	ペットビジネス 学科(ドッグトレー ナーコース)	2年(昼)	1700単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学 大臣告示第20号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	884単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	816単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	83人	3人	2人	5人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 実技・筆記試験・授業態度・出席率を総合的に評価	
長期休み	■学年始め：4月6日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月22日～1月5日 ■学 年 末：3月17日			卒業・進級条件	履修する全科目の単位修得した者	
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・個別面談・保護者面談			課外活動	■課外活動の種類 技能大会への参加 ■サークル活動(無)	

就職等の状況	<b>■主な就職先、業界等</b> ペットショップ、動物病院他 <b>■就職率 100%</b> <b>■卒業者に占める就職者の割合98%</b>	主な資格・検定	全日本愛犬技術者指導協会  トリマー、ホームドッグトレーナー、小動物衛生看護師、ペットケアマネージャー  日本愛玩動物協会  愛玩動物飼養管理士  動物看護師統一認定機構  認定動物看護師  職業教育・キャリア教育財団  ビジネス能力検定
中途退学の現状	<b>■中途退学者 5名 ■中退率 7.2%</b> 平成27年5月1日在学者 69名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 64名（平成28年3月卒業生を含む） <b>■中途退学の主な理由</b> 病気療養、経済的理由、進路変更 <b>■中退防止のための取組</b> 校内イベントの定期開催、個人面談の実施、保護者面談の実施、相談窓口の設置		
ホームページ	URL: <a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）



## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ペット業界が求める人材を育成するため、ペット関連企業、関係団体等との連携をとり、最新の専門知識、技術技能を教育内容に反映させるなど、広く意見を取り入れ、カリキュラムの改善等を定期的に行う。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
寺崎 修司	つくば国際ペット専門学校
松島 美夫	一般社団法人全日本愛犬技術者指導協会
田口 弘樹	つくばわんわんランド
宮本 利子	つくば国際ペット専門学校
小寺 智也	つくば国際ペット専門学校
水野 恵理子	つくば国際ペット専門学校
内田 智幸	つくば国際ペット専門学校
高橋 仁	つくば国際ペット専門学校

### (開催日時)

第1回 平成28年4月1日 16:00~18:00

第2回 平成28年10月12日 16:00~18:00(予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

研修生として実務、接客等にあたり、実際の職場を経験させることを基本方針とする。

在学期間中にできるだけ多くの動物を使った実習が有効と考え、担当教員の要請により、可能な限りの動物の提供を受け実習に活用する。

専門的スキル、技術の習得に不可欠な実際の職場等を使った実習を行うため、施設の使用をお願いしている。

科目名	科目概要	連携企業等
総合実習(わんわんランド研修)	テーマパークにおいて、担当スタッフの指導の下、各部署や担当に分かれて動物管理や接客などの実習を行う。	つくばわんわんランド

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

企業等の持つ業界の最新の情報や動向、企業での工夫、努力点等の情報と当校での教員の知識や教育指導の過不足、生徒の習熟度などの情報を共有し、学校長が指示する研修等において確認を行い、実践的かつ専門的なスキル、技術の向上に努める。また、各競技会や学会等を積極的に活用するよう奨励している。

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
寺崎 修司	(事務局)つくば国際ペット専門学校
松島 美夫	一般社団法人全日本愛犬技術者指導協会
田口 弘樹	つくばわんわんランド
上倉 景子	卒業生(つくばわんわんランド)
宮本 利子	(事務局)つくば国際ペット専門学校
小寺 智也	(事務局)つくば国際ペット専門学校
水野 恵理子	(事務局)つくば国際ペット専門学校

内田 智幸	(事務局)つくば国際ペット専門学校
高橋 仁	(事務局)つくば国際ペット専門学校
<p>(学校関係者評価結果の公表方法)</p> <p>URL:<a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a></p>	
<p><b>5. 情報提供</b></p>	
<p>(情報提供の方法)</p> <p>URL: <a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a></p>	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程ペットビジネス学科ドッグトレーナーコース) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			公衆衛生学	公衆衛生について意義、法律、病気などを学習する。	1通	34		○		
○			飼育学	動物飼育の方法について学習する	1 2通	102		○		
○			スタンダード学	犬種についての原産、特長、標準体型などを学習する	1通	34		○		
○			動物行動学	動物の行動について、特に犬の習性について学習する	1通	34		○		
○			動物社会学	社会の中での動物の役割、扱いなどを学習する。	1通	34		○		
○			伴侶動物学	ペットとしての動物の特性、飼養方法を学習する	1通	68		○		
○			動物飼養管理学	動物に関連する法律、動物と人間の歴史、動物の飼養方法などを学習する	1通	68		○		
○			ペットビジネス学	ペット関連の様々な業種、仕事内容、現状などを学習する。	1通	34		○		
○			基礎獣医学	動物の病気、怪我、治療法、応急処置方法等を学習する。	2通	34		○		
○			飼育管理学	動物の飼育方法と、管理方法について学習する	2通	34		○		

○			動物環境学	動物を飼育する環境、動物がいる場所の環境などについて学習する。	2 通	34		○		
○			動物管理学	動物を飼養する場所の管理について学習する	2 通	34		○		
○			ビジネスマナー	ビジネスにおけるマナーや文書の書き方などを学習する	2 通	34		○		
○			ペットショップ概論	ペットショップの役割、在り方、経営方法などモデルケースを学習する	2 通	34		○		
○			動物衛生学	動物飼養に関する消毒法、廃棄物の扱い方等を学習する	1 通	68		○		
○			動物生態学	動物が生息する環境や生態を学習する	1 通	34		○		
○			ペット販売学	ペット販売に必要な知識、説明方法、法規などを学習する	1 通	34		○		
○			ペットシッター概論	ペットシッターの役割、在り方などをモデルケースを上げて学習する	2 通	34		○		
○			アジリティ概論	アジリティのルール、練習方法、動物の管理方法などを学習する	2 通	34		○		
○			しつけ訓練学	犬の習性、骨格、気質などを理解し、その訓練方法を学習する	2 通	68		○		
○			グルーミング実習	犬の手入れ方法、シャンプー、カットスタイルなどを実習で習得する	1 2 通	102				○
○			トレーニング実習	犬のしつけ、訓練全般を実習で習得する	1 2 通	204				○
○			アジリティ実習	アジリティの練習を実習で行う	2 通	68				○

○		総合実習	レクリエーション大会、学園祭、動物愛護行事、わんわんランド研修、研修旅行など 広い分野の実習を行う	2 通	68				○
合計			24 科目	1700 単位時間 (		単位)			

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
つくば国際ペット 専門学校	平成18年3月10日	寺崎 修司	〒300-4353 茨城県つくば市沼田字川戸578番地 (電話) 029-866-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 つくば文化学園	平成18年3月10日	東郷 治久	〒300-4353 茨城県つくば市沼田字川戸578番地 (電話) 029-866-2800			
目 的	教育基本法及び学校教育法に従い、ペットビジネスに必要な専門知識と技能技術を習得させ、社会と業界に貢献する有為な人材を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教 養分野	専門課程	ペットビジネス 学科(動物看護福 祉コース)	2年(昼)	2400単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学 大臣告示第20号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1224単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1176位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	63人	2人	6人	8人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 実技・筆記試験・授業態度・出席 率を総合的に評価	
長期休み	■学年始め：4月6日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月22日～1月5日 ■学 年 末：3月17日			卒業・進級条件	履修する全科目の単位修得した者	
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・個別面談・保護者面談			課外活動	■課外活動の種類 技能大会への参加 ■サークル活動(無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 ペットショップ、動物病院他</p> <p>■就職率 100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合98%</p>	主な資格・検定	<p>全日本愛犬技術者指導協会</p> <p>トリマー、ホームドッグトレーナー、小動物衛生看護師、ペットケアマネージャー</p> <p>日本愛玩動物協会</p> <p>愛玩動物飼養管理士</p> <p>動物看護師統一認定機構</p> <p>認定動物看護師</p> <p>職業教育・キャリア教育財団</p> <p>ビジネス能力検定</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成27年5月1日在学者 63名（平成27年4月入学者を含む）</p> <p>平成28年3月31日在学者 63名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 なし</p> <p>■中退防止のための取組 校内イベントの定期開催、個人面談の実施、保護者面談の実施、相談窓口の設置</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ペット業界が求める人材を育成するため、ペット関連企業、関係団体等との連携をとり、最新の専門知識、技術技能を教育内容に反映させるなど、広く意見を取り入れ、カリキュラムの改善等を定期的に行う。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
寺崎 修司	つくば国際ペット専門学校
松島 美夫	一般社団法人全日本愛犬技術者指導協会
田口 弘樹	つくばわんわんランド
宮本 利子	つくば国際ペット専門学校
小寺 智也	つくば国際ペット専門学校
水野 恵理子	つくば国際ペット専門学校
内田 智幸	つくば国際ペット専門学校
高橋 仁	つくば国際ペット専門学校

### (開催日時)

第1回 平成28年4月1日 16:00~18:00

第2回 平成28年10月12日 16:00~18:00(予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

研修生として実務、接客等にあたり、実際の職場を経験させることを基本方針とする。

在学期間中にできるだけ多くの動物を使った実習が有効と考え、担当教員の要請により、可能な限りの動物の提供を受け実習に活用する。

専門的スキル、技術の習得に不可欠な実際の職場等を使った実習を行うため、施設の使用をお願いしている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
総合実習(わんわんランド研修)	テーマパークにおいて、担当スタッフの指導の下、各部署や担当に分かれて動物管理や接客などの実習を行う。	つくばわんわんランド

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

企業等の持つ業界の最新の情報や動向、企業での工夫、努力点等の情報と当校での教員の知識や教育指導の過不足、生徒の習熟度などの情報を共有し、学校長が指示する研修等において確認を行い、実践的かつ専門的なスキル、技術の向上に努める。また、各競技会や学会等を積極的に活用するよう奨励している。

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
寺崎 修司	(事務局)つくば国際ペット専門学校
松島 美夫	一般社団法人全日本愛犬技術者指導協会
田口 弘樹	つくばわんわんランド
上倉 景子	卒業生(つくばわんわんランド)
宮本 利子	(事務局)つくば国際ペット専門学校
小寺 智也	(事務局)つくば国際ペット専門学校
水野 恵理子	(事務局)つくば国際ペット専門学校



内田 智幸	(事務局)つくば国際ペット専門学校
高橋 仁	(事務局)つくば国際ペット専門学校
(学校関係者評価結果の公表方法) URL: <a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a>	
<b>5. 情報提供</b>	
(情報提供の方法) URL: <a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a>	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程ペットビジネス学科動物看護福祉コース) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			動物形態機能学	動物の生命維持の仕組みと解剖学及び生理学の基礎を知り、動物体の構造と機能について学習する	1通	153		○		
○			動物病理学	動物看護に必要な発病のメカニズムと病理学的特徴を理解し、病気の発生から回復までを学習する	1通	34		○		
○			動物疾病看護学	獣医療の場に必要な病名や診断名について理解し、疾病については特有の検査方法や各症状を理解し、看護法を学習する	1通	153		○		
○			動物薬理学	獣医師が処方する薬剤についてその薬理作用や取り扱い、保存方法を習得し、服薬指導について学習する	1通	68		○		
○			動物感染症学	動物に感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環、感染経路、症状について学習する	1通	68		○		
○			病原体・衛生管理	病原体による感染症の予防方法や対処方法を学習する。ワクチンについても理解し動物を健康に管理する知識を身につける	1通	34		○		
○			動物健康管理	健全な動物に必要な日常ケアと適正飼育方法を理解し、適正飼育指導、説明方法を学習する	1通	17		○		
○			動物栄養学	動物の健康維持に必要な栄養素を学び、飼い主に対する栄養相談及び指導を行う際の基礎知識を学習する	1通	85		○		
○			動物医療関連法規	動物看護師が行う獣医療関連業務とそれを取り巻く法律の仕組みを理解し、法令遵守の精神と動物関連の法令を学習する	2通	34		○		
○			公衆衛生学	公衆衛生の基本的な考え方を理解し、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生などについて学習する。	1通	34		○		

○			動物繁殖学	犬や猫の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。ペットの適正な繁殖についても学習する	1 通	17		○		
○			動物人間関係学	人間と動物の関係の歴史を理解し、人間と動物の関係性と動物介在療法などの活動を学習する	1 通	34		○		
○			動物行動学	犬や猫の発生起源、種類による特徴を知り、基本的行動様式から適正飼育とハンドリング、しつけを中心に学習する	1 通	68		○		
○			動物福祉論	動物愛護や動物福祉の発展を学び、動物関連法規や人との関わりから動物福祉への精神を学習する	1 通	34		○		
○			飼養管理学	コンパニオンアニマルとして飼育されている小動物や猛禽類、は虫類などの生態や飼育方法、日常の健康管理を学習する	1 通	68		○		
○			総合実習	動物飼育や接客、施設保全など動物の飼育や職業訓練に必要な技術を幅広く習得する	1 2 通	292				○
○			動物看護学	小動物獣医療における動物看護師の職域を確立するため多岐にわたる獣医師の業務を理解し、動物看護技術を学習する	2 通	17		○		
○			臨床動物看護学	動物看護師の役割、目的などを明確に理解し、臨床現場に於いての動物看護師の役割について学習する	2 通	102		○		
○			動物入院管理	入院している看護動物の病状と情報を把握し、動物にとって負担にならない管理方法とケアを学習する	2 通	34		○		
○			幼齢動物・高齢動物管理	新生子期から幼年期、また高齢動物の管理方法を理解し、各時に最適な看護技術や飼養方法などを学習する	1 通	34		○		
○			動物臨床検査学	動物病院での動物看護師の役割を理解し、基本的な検査の知識と技術を身につけ、病院での臨床的応用可能な学習をする	2 通	34		○		
○			救急救命対応	心肺停止状態をはじめとする緊急状態において適切な対処を速やかに実施する事を目標に緊急時の処置方法を学習する	1 通	17		○		
○			クライアントエデュケーション	動物の健康維持、適正飼養の啓発と指導を通じて人と動物のより良い共生を目指して事例を用いて学習する	2 通	34		○		

○		院内コミュニケーション	ホスピタリティ精神を理解し、身だしなみ、言葉遣い、立ち居振る舞いを身につけコミュニケーション能力を習得する	2通	85		○		
○		動物飼育実習Ⅰ	実際に動物の飼養管理をすることにより動物の基本的行動様式と正しいハンドリング、トレーニング方法を学習する	1通	68				○
○		動物飼育実習Ⅱ	実際に動物の飼養管理をすることにより動物の心身の健康の保持に努め、繰り返し実践することの重要性を学習する	2通	102				○
○		動物看護実習Ⅰ	診療現場に必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身につけ、手順や要領を学習する	1通	102				○
○		動物看護実習Ⅱ	診療現場に必要な観察力及び看護法に関する基本的手技に加えて、グルーミングなどのケア技術を習得する	2通	134				○
○		動物臨床検査学実習Ⅰ	講義で習得した知識の実践とし、診療現場に必要な検体検査及び生体検査に関する基本的手技を習得する	2通	102				○
○		動物臨床検査学実習Ⅱ	基本的手技に加えて、応用的な正確性、迅速性を身につける。検査結果を単独で出せるよう繰り返し演習する	2通	136				○
○		外科動物看護実習Ⅰ	動物看護師の役割である外科手術での補助看護技術を習得する	2通	51				○
○		外科動物看護実習Ⅱ	基本的補助看護技術に加えて、周術期の術前、術中、術後の流れや目的理解ができるよう実習にて学習する	2通	51				○
○		総合臨床実習	動物病院内で想定される内科、外科その他の診療や検査の手順と準備、補助などを総合的に実習にて学習する	2通	136				○
合計				33 科目	2400 単位時間 (105 単位)				

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
つくば国際ペット 専門学校	平成18年3月10日	寺崎 修司	〒300-4353 茨城県つくば市沼田字川戸578番地 (電話) 029-866-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 つくば文化学園	平成18年3月10日	東郷 治久	〒300-4353 茨城県つくば市沼田字川戸578番地 (電話) 029-866-2800			
目 的	教育基本法及び学校教育法に従い、ペットビジネスに必要な専門知識と技能技術を習得させ、社会と業界に貢献する有為な人材を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教 養分野	専門課程	ペットビジネス 学科(ペットケア 総合コース)	2年(昼)	1700単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学 大臣告示第20号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	850単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	850単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	58人	4人	1人	5人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について 実技・筆記試験・授業態度・出席率を総合的に評価	
長期休み	■学年始め：4月6日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月22日～1月5日 ■学 年 末：3月17日			卒業・進級条件	履修する全科目の単位修得した者	
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・個別面談・保護者面談			課外活動	■課外活動の種類 技能大会への参加 ■サークル活動(無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 ペットショップ、動物病院他</p> <p>■就職率 100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合98%</p>	主な資格・検定	<p>全日本愛犬技術者指導協会</p> <p>トリマー、ホームドッグトレーナー、小動物衛生看護師、ペットケアマネージャー</p> <p>日本愛玩動物協会</p> <p>愛玩動物飼養管理士</p> <p>動物看護師統一認定機構</p> <p>認定動物看護師</p> <p>職業教育・キャリア教育財団</p> <p>ビジネス能力検定</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 2名 ■中退率 3.4%</p> <p>平成27年5月1日在学者 58名（平成27年4月入学者を含む）</p> <p>平成28年3月31日在学者 56名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 学業不振、不適応</p> <p>■中退防止のための取組 校内イベントの定期開催、個人面談の実施、保護者面談の実施、相談窓口の設置</p>		
ホームページ	URL: <a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ペット業界が求める人材を育成するため、ペット関連企業、関係団体等との連携をとり、最新の専門知識、技術技能を教育内容に反映させるなど、広く意見を取り入れ、カリキュラムの改善等を定期的に行う。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
寺崎 修司	つくば国際ペット専門学校
松島 美夫	一般社団法人全日本愛犬技術者指導協会
田口 弘樹	つくばわんわんランド
宮本 利子	つくば国際ペット専門学校
小寺 智也	つくば国際ペット専門学校
水野 恵理子	つくば国際ペット専門学校
内田 智幸	つくば国際ペット専門学校
高橋 仁	つくば国際ペット専門学校

### (開催日時)

第1回 平成28年4月1日 16:00~18:00

第2回 平成28年10月12日 16:00~18:00(予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

研修生として実務、接客等にあたり、実際の職場を経験させることを基本方針とする。

在学期間中にできるだけ多くの動物を使った実習が有効と考え、担当教員の要請により、可能な限りの動物の提供を受け実習に活用する。

専門的スキル、技術の習得に不可欠な実際の職場等を使った実習を行うため、施設の使用をお願いしている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
総合実習(わんわんランド研修)	テーマパークにおいて、担当スタッフの指導の下、各部署や担当に分かれて動物管理や接客などの実習を行う。	つくばわんわんランド

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

企業等の持つ業界の最新の情報や動向、企業での工夫、努力点等の情報と当校での教員の知識や教育指導の過不足、生徒の習熟度などの情報を共有し、学校長が指示する研修等において確認を行い、実践的かつ専門的なスキル、技術の向上に努める。また、各競技会や学会等を積極的に活用するよう奨励している。

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
寺崎 修司	(事務局)つくば国際ペット専門学校
松島 美夫	一般社団法人全日本愛犬技術者指導協会
田口 弘樹	つくばわんわんランド
上倉 景子	卒業生(つくばわんわんランド)
宮本 利子	(事務局)つくば国際ペット専門学校
小寺 智也	(事務局)つくば国際ペット専門学校
水野 恵理子	(事務局)つくば国際ペット専門学校

内田 智幸	(事務局)つくば国際ペット専門学校
高橋 仁	(事務局)つくば国際ペット専門学校
<p>(学校関係者評価結果の公表方法)</p> <p>URL:<a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a></p>	
<p><b>5. 情報提供</b></p>	
<p>(情報提供の方法)</p> <p>URL: <a href="http://www.tip.ac.jp/">http://www.tip.ac.jp/</a></p>	



授業科目等の概要

(文化・教養専門課程ペットビジネス学科動物看護福祉コース) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			犬学	犬の種類、習性、しつけ等について学習する	1通	68		○		
○			猫学	猫の種類、習性、飼い方等について学習する	1通	34		○		
○			スタンダード学	犬種についての原産、特長、標準体型などを学習する	1通	68		○		
○			動物管理学	動物を飼養する場所の管理について学習する	1通	34		○		
○			動物社会学	社会の中での動物の役割、扱いなどを学習する。	1 2通	68		○		
○			動物飼養管理学	動物に関連する法律、動物と人間の歴史、動物の飼養方法などを学習する	1通	68		○		
○			寄生虫学	動物に寄生する寄生虫についてその特長や対処方法を学習する	2通	68		○		
○			ビジネスマナー	ビジネスにおけるマナーや文書の書き方などを学習する	2通	34		○		
○			基礎獣医学	動物の病気、怪我、治療法、応急処置方法等を学習する。	2通	34		○		
○			ペットビジネス学	ペット関連の様々な業種、仕事内容、現状などを学習する。	2通	34		○		

○			伴侶動物学	ペットとしての動物の特性、飼養方法等を学習する	2 通	68		○		
○			エキゾチックアニマル概論	代表的なエキゾチックアニマルについて飼養の方法や性質について学習する	1 通	34		○		
○			生理学	動物、特に犬と猫について生理について学習する	1 通	34		○		
○			繁殖学	犬の繁殖、ブリーディングについて体系的に学習する	1 通	34		○		
○			薬理学	動物病院で使用する薬剤について効用と処方について学習する	1 通	34		○		
○			ペット販売学	ペット販売に必要な知識、説明方法、法規などを学習する	1 通	34		○		
○			病理学	動物病院で扱う代表的な動物の病気について学習する	2 通	68		○		
○			免疫学	動物の免疫について学習する	2 通	34		○		
○			動物生態学	動物が生息する環境や生態を学習する	2 通	34		○		
○			ペットシッター概論	ペットシッターの役割、在り方などをモデルケースを上げて学習する	2 通	34		○		
○			エキゾチックアニマル実習	ハムスター、ウサギなどの動物の飼養方法を実習で習得する	1 通	34				○
○			解剖学実習	動物の臓器の特長について実習で習得する	1 通	68				○
○			グルーミング実習	犬の手入れ方法、シャンプー、カットスタイルなどを実習で習得する	1 2 通	204				○

○		動物看護学 実習	動物の看護の方法全般について実習で習得する	1 通	68				○
○		トレーニング 実習	犬のしつけ、訓練全般を実習で習得する	1 2 通	204				○
○		繁殖学実習	犬の交配、出産などの管理を実習で習得する	1 2 通	102				○
○		総合実習	レクリエーション大会、学園祭、動物愛護行事、わんわんランド研修、研修旅行など広い分野の実習を行う	2 通	68				○
合計				27 科目	1700 単位時間 (	単位)			